

# 外国人

知っていますか？

## と人権



わたしたち地球上のすべての人は、人間らしく幸せに生きる権利を持っています。それが人権です。

これは、肌の色、言語の違い、宗教の違い、国籍の違いは関係ありません。人権に国境は存在しないのです。

しかし、現実には、言語、宗教、習慣などによる違いから、様々な日常生活の場において軋轢あつれきが生じ、外国人に対する人権侵害につながっています。

国籍や民族などの異なる人々が、お互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会を構成する一員として共に生きていくような、多文化共生の社会づくりを進める必要があります。

小 山 市  
小山市教育委員会

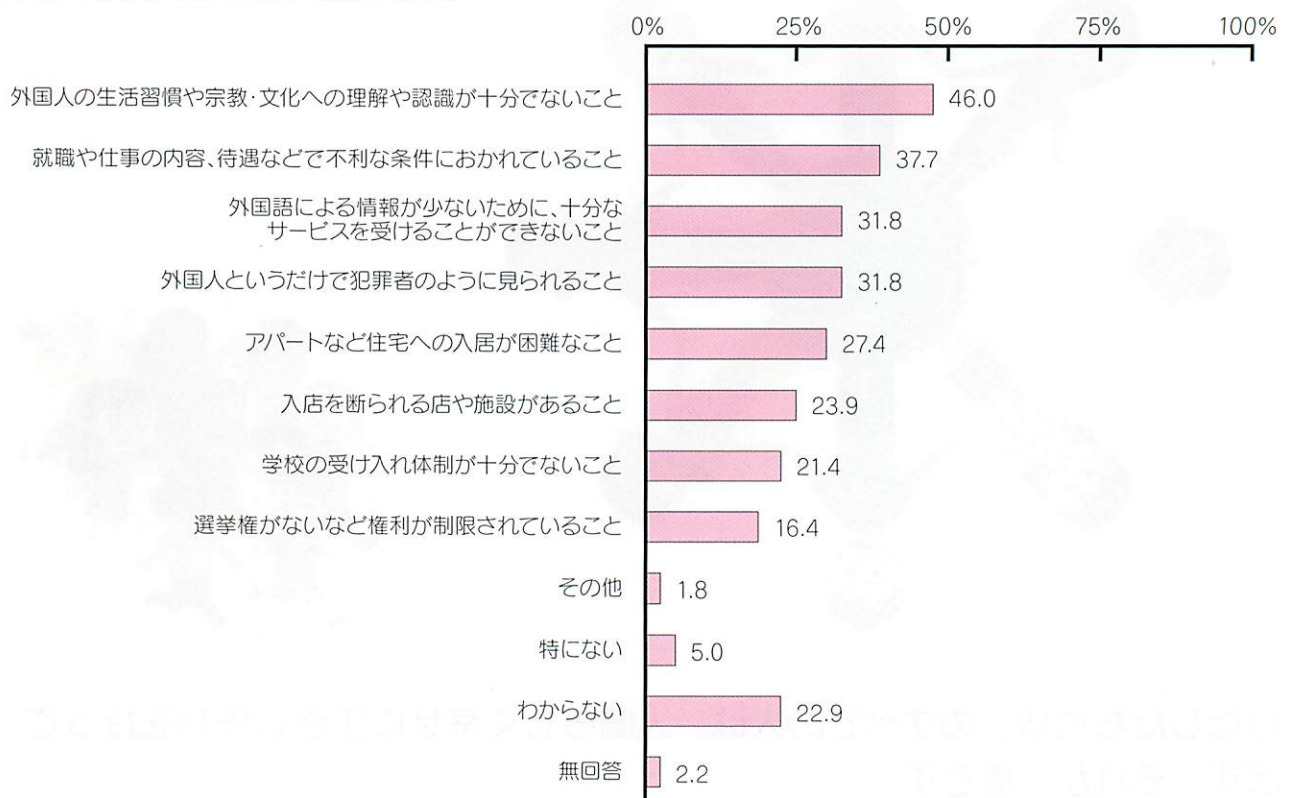


# 日本に居住している外国人について、 現在、どのような人権問題があると思いますか？

(問) 日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上問題があると思われるのはどのようなことですか？（複数回答）

外国人に関する人権上の問題は、「外国人の生活習慣や宗教・文化への理解や認識が十分でないこと」が46.0%で最も多く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること」が37.7%、「外国語による情報が少ないために、十分なサービスを受けることができないこと」「外国人というだけで犯罪者のように見られること」がともに31.8%となっており、いずれも3割を超えています。

図表2.12 外国人に関する人権上の問題（全体）



〔小山市人権に関する市民意識調査報告書〕(2016(平成28)年3月 小山市)

## 外国人の人権について考えてみましょう

人権に国籍や国境の壁はありません。今後ますます国際化が進み、外国人居住者が増加することが予想されます。

このような中で、同じ地域でともに暮らす仲間として、外国人の人権を尊重し、共生する地域社会を築いていくためにはどのようにすればよいのでしょうか。外国人の方々にも日本語の理解や地域社会への積極的な参加が求められます。私たちも、外国人に対する誤解や偏見に基づく予断をなくして、お互いに尊重しあう意識を高めることや、外国人の宗教、習慣、文化を理解して、外国人の持つ価値観、生活習慣などの多様性を認め合うことが必要です。

